

会長 古賀 健一郎  
副会長 古田 和彦  
書記 古賀 健一郎  
会計 大高 治  
直前会長 古田 和彦

国際会長 (IP) K.C.Samuel (India)

“Into the next 100 Years with FELLOWSHIP & IMPACT”

「フェロウシップとインパクトで次の100年へ」

アジア太平洋地域会長 (AP) Chen Ming Chen (Taiwan)

“Elegantly Change with New Era”

「新しい時代とともに、エレガントに変化を」

東日本区理事 (RD) 佐藤 重良 (甲府21)

“Let's act now for the future”

「未来に向けて今すぐ行動しよう」

湘南・沖縄部部长 (DG) 小松 仲史 (厚木)

「楽しく・元気よく・前向きに」 副題：入りたくなるワイズにしよう

横浜クラブ会長 (CP) 古賀 健一郎

「他者と共に生きる ～ 平和を求めて」

“Live together in harmony ～ for Peace”

監事 松島 美一  
ブリテン 伊藤 誠彦  
担当主事 青木 英幸

### <今月の聖句>

古田 和彦

「あなたがたも聞いているとおり、『目には目を、歯には歯を』と命じられている。しかし、わたしは言っておく。悪人に手向かってはならない。だれかがあなたの右の頬を打つなら、左の頬をも向けなさい。」

(マタイによる福音書 5：38-39)

### 今月のひとこと

### 『今月の一言—2022という年』

大高 治



今年にはロシアによるウクライナ侵攻に始まり、大きなハプニングの多い年ではなかろうか。

安倍元首相の襲撃事件、世界各国での旱魃と洪水、日本での線状降水帯の頻発、史上最速の梅雨明け、ペロシ米下院議長の台湾訪問と中国軍の大演習、マスクの大国日本でのコロナ感染者の増大。後世の人々が2022年を振り返る時、どんな評価をするだろうか。

そして大谷選手は104年ぶりの快挙。更にとどこまで記録を伸ばすのであろうか。日本でもアメリカでも注目を集めてい

る。イチロー選手もマリナーズ球団の殿堂入りを果たしました。

1991年の湾岸戦争では、巡行ミサイルがイラクの夜空を照らし、多国籍軍の空爆の様子がリアルに茶の間に入って来た。本年2月からのロシアのウクライナ侵攻では、攻撃されるウクライナ側の惨状が映し出され、市民の犠牲者も報じられている。反撃するウクライナ側の映像は少なく、ロシアの国土を爆撃しているニュースはほとんどない。ウクライナの街々が爆撃されるニュースを見る度に、日米戦争の最後、連日主要都市を襲った焼夷弾爆撃が、今日のように映像に載って世界各国で映し出されていたなら、以後の戦争にブレーキが掛かったのではなかろうか。当時は一般市民の犠牲はニュースにはならなかったと思う。この時代既に無差別攻撃は国際法で禁止されていたはず。

このウクライナ侵攻、何時まで続くのだろうか。ロシアはウクライナの東部と南部で各2州を抑えたようだ。ウクライナ側は2014年に奪われたクリミア半島を取り返そうとしている。アメリカを主とする西側からの最新の兵器で、勇敢なウクライナの軍隊が強大なロシア軍に立ち向かっている。西側による経済封鎖、金融封鎖は続いているが、ブーメラン効果か西側も燃料高、物価高で被害を被っている。

ロシアとウクライナ双方にウィン・ウィンの状態を作らなければ停戦に至りそうにない。その間、真の被害者はウクライナ国民と双方の兵士だ。市民の殺戮や大量虐殺の証拠集めが行われている。77年経ってこれだけを進展というのでは寂しい。冬に始まった戦闘、夏が過ぎれば高緯度の国では直ぐ冬将軍が到来する。瓦礫の中でウクライナ人はどう暮らすのであろうか。

安倍元首相が襲撃された。今の世で政治的な背景はなかろう

## <2022年8月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F
12名	メン 7名 メネット 0名 コメット 0名 ビジター 2名 ゲスト 0名 合計 9名	67 % (メーキャップ 1名を含む) 前月修正 出席率 %	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 0g 現金 0円

## <9月の行事予定>

EF/JEF

日	曜	時間	行事内容	場所
2	金	10:00	日本語スピーチコンテスト	中央Yチャペル、Zoom
6	火	19:00	第95回Y-Ys協議会	Zoom
8	木	18:30	横浜クラブ第一例会	ハイブリッド
22	木	17:00	横浜クラブ第二例会	Zoom

うと思いながらも90年前、86年前の5・15、2・26事件が頭をよぎった。旧統一協会に恨みを持つ若者によるものであったが、同協会と政治家の結びつきが暴露されて来た。

政治家と票、大事なことは分かるが、YouTubeやTVでも時間が経つにつれ、旧統一協会は反社会的集団だ、カルト集団だと悪評が目立つ。若者の家庭を崩壊したという高額の寄付や霊感商法の被害者救済や政治家の自己浄化が待たれる。

元首相が襲撃された映像を見た瞬間、後ろ向きの警官やSPが居なかったことには驚いた。誰でも華々しい方を好むが、指令がなくとも力量に応じて役割分担をするのが日本人の優れた特性とっていました。

早魃と洪水、欧州でも、中国でも繰り返され、山火事もアメリカ西部だけではなく欧州にも広がり、増々大規模になって来た。日本でも線状降水帯なる新しい言葉が現れ、各地で発生して水害をもたらしている。今年は史上最速14日で梅雨が明けた。また熱中症警戒アラートの発令も始まった。温暖化による異常気象は明白。アメリカ在住の真鍋博士は2021年地球温暖化理論を数値で示しノーベル賞に輝いた。博士に続く研究者に加え、画期的なCO2削減策が日本から先に出ることを期待したい。

8月初めのアメリカのペロシ下院議長の台湾訪問はいささか突然であった。台中間問題に対するアメリカのコミットの意思表示で、ロシアのウクライナ侵攻のような惨事を太平洋では起こさせないと言う牽制だと思う。突然でなければ訪問は出来なかったのかも知れない。中国軍はその報復として台湾を包囲する軍事的な要所数カ所にミサイルを撃ち込み、中間線を越える大演習を続けた。これを契機に世界の要人が台湾を訪問すれば、中国軍の脅迫的軍事演習が繰り返されそうだ。その度に日本、台湾、中国の漁民は漁に出られない。脅しは何も利をもたらさない。この大演習、この秋の共産党大会で異例の第3期目を狙う習近平主席の思惑によると言われている。台湾はこれまでの粘り強い外交活動、経済活動によって

強くなっている。台湾OBの私はこれを応援したい。

日本はマスクの国と言われコロナ感染率の低い国でした。しかし8月に入ると日々のコロナ感染者が世界一になり、想像を超える勢いの第7波、医療機関に辿り着けないで命を落とす人が出ており、死者数でも記録的だ。何とも痛ましい。コロナウイルスが小さくなってマスクを容易に通過するというニュースはない。コロナは変異する度に感染力を増している。それを越える日本製ワクチン、特効薬の成功が待たれる。

さてさてマスクは何時まで続けるのであろうか。日本ではワクチン4回目が済んでもマスクを外せない。アメリカでは野球観戦でもNYの街角でもマスク姿は見られない。落語では星条旗(空気清浄機)が何処にでもあるからだと言う。

マスク姿のウクライナ人も見かけない。ウイルスはプーチンを慕ってロシアに飛んで行ったのであろうか。それともミサイルを避けて地下で肩を寄せ合っているのだろうか。

## <8月第一例会兼親睦会報告>

秋元 美晴

日時：8月25日(木)18:30~21:00

開催場所：中華街の廣東飯店

開催方法：対面とZoomによるハイブリッドの開催

出席者：(対面)青木、秋元、大高、古賀、佐竹、古田

ビジター 佐藤節子(厚木)、川口知幸(厚木)

(Zoom) 齋藤

開会点鐘(割愛)古賀会長の挨拶により開始。ワイズソング(割愛)、ワイズの信条を唱和した。今月の聖句は、押川ワイズにより、「正義を洪水のように 恵みの業を大河のように尽きることなく流れさせよ。」(アモス書5:24)が与えられた。押川ワイズが欠席のため、古田ワイズが聖句を代読、お祈りがささげられた。

次いでビジネスに入り、報告事項として古賀会長より9月の第一例会は、横浜YMCA総主事佐竹博ワイズのお話があ



ることが、また、10月の第一例会は昨年と同じように9月2日に開催予定の「第9回横浜YMCA専門学校日本語スピーチコンテスト」の参加者との交流の時にしたいという意向



が示された。なお、「第9回横浜 YMCA 専門学校日本語スピーチコンテスト」の開催日時（9月2日10時）・会場（Zoomのウェビナー機能にて同時配信）・出場者数・審査員として厚木クラブ会長の佐藤節子ワイズが出席（古賀、秋元に加えて）することなどについての報告があった。

また、12月17日は創立150周年の横浜海岸教会においてクリスマス礼拝が開催されるという報告もあった。

こののち、親睦会となり、ビジターの佐藤ワイズ、川口ワイズを含めて、久しぶりの対面式の再会に、（故金子ワイズが長年懇意にされていた廣東飯店で）中華料理を食しながら、大いに会話も弾み、和やかな雰囲気うちに終了した。

## 「第29回 AIDS 文化フォーラム in 横浜」

青木 英幸

8月5日(金)～8日(日)に「第29回 AIDS 文化フォーラム in 横浜」が、リアル会場：かながわ県民センターとオンライン会場：ZOOM & YouTube ライブ配信で開催された。

HIV/AIDS と文化～文化とは何か？」をテーマに高久陽介氏（Ja NP+）、北山翔子氏（神様がくれた HIV 著者）、長澤勲氏（第1回同事務局長）、宮崎豊久氏（インターネット専門家）、岩室紳也氏（同フォーラム運営委員）によるトークセッションが行われ、長澤氏は、フォーラムでの人と人とのつながりから文化が生まれ、時代や人により変化し今につながっていると話した。このほか、岩田健太郎医師（神戸大学感染症内科）による「感染症とどう向き合うか」、神父や僧侶などによる「文化としての宗教」、水谷修氏（水谷青少年問題研究所所長）の「壊されゆく子どもたち」の講演があった。

横浜 YMCA では、高校生向けの HIV/AIDS 啓発プログラムの「今だからこそ知ろう、HIV/AIDS」を実施し、HIV の感染の仕組みから治療、予防、検査に至るまで、学校で学ぶ内容から一歩踏み込んだ性的話を行った。

また、「知ろう・話そう・性のモヤモヤ セイシルが取り組む活動」（横浜 AIDS 市民活動センター・運営受託 横浜 YMCA）、「タイにおける性教育～子どもの権利の視点から」（国際・地域事業）などが行われ差別や偏見について共に考える機会となった。

3日間で22講座と3団体の活動紹介が行われ、述べ約3千人が視聴し HIV/AIDS と文化について考えた。



AIDS 文化フォーラムトークセッション

## 「近況：闘病の日々」

伊藤 誠彦



昨年10月、検査入院の結果、悪性胸膜中皮腫と診断された。胸膜（肺を覆う薄い膜）の中皮と呼ばれる組織に発生する悪性の腫瘍（いわゆる癌）である。癌の進行度はステージIV、治療せずに放置すると余命は数週間から1年、ということであった。

3～4年前から胸水が貯まるという症状があり、胸腔穿刺（きょうこうせんし）と言って背中から注射針を刺して胸水を抜く治療を受けていました。一度に1リットルほどの胸水を抜きます。その頻度が多くなってきたため、入院して胸膜の細胞検査の結果、上記診断が下ったものです。

悪性胸膜中皮腫の治療法は、手術や放射線による局所的な治療と、薬を使った全身的な治療である「薬物療法」があります。私の場合は手術による治療は難しく薬物療法が選ばれました。

薬物療法については、『癌と免疫』に関する研究が進み、これまでとは異なる作用を持つ「がん免疫療法」が開発されています。

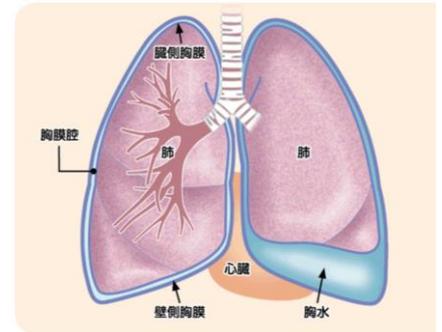
ここで、免疫細胞とがん細胞の関係を整理しておきましょう。

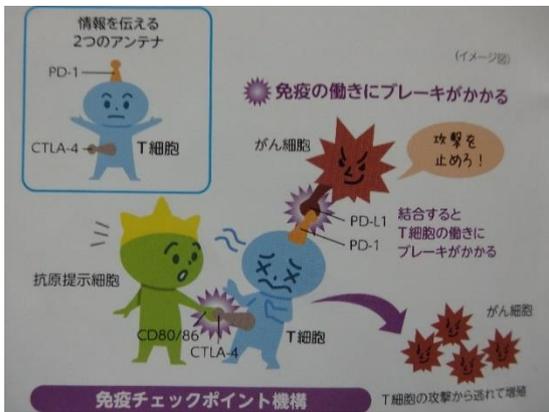
私たちの周りには、細菌やウイルスなどの病原体が無数にあり、体の中に侵入してきます。こうした病原体やがんなどから体を守っているのが「免疫」です。免疫は、常に体の中を監視し

て、異物を見つけると、攻撃して体から取り除いていきます。免疫は、も

ともとは正常な細胞が変化を起こしてできたがん細胞も異物とみなして攻撃します。

その中心になっているのが T 細胞と呼ばれる免疫細胞です。がん細胞はこの T 細胞の働きにブレーキをかけてその攻撃から逃れています。





がん免疫療法は オプジーボとヤーボイと呼ばれる薬物を投与することにより T細胞が活動しやす

い環境を整え、がん細胞を攻撃しやすくする働きをします。

私の場合、11月より、オプジーボを2週間に1回、ヤーボイを6週間に1回の割合で点滴投与を受けることになりました。



た。薬物投与開始に当たっては、副作用に対処するため、4日間入院しました。

最初のうちは本当にこの薬は効いているのかと思うほど副作用は現れなかったのですが、今年の1月末になって急に強い副作用が現れ、3週間ほど入院する羽目になりました。退院後は副作用に悩まされながらもオプジーボ、ヤーボイの定期的な投与を受けています。

がん免疫療法は長期生存、一部には治癒も期待されるということですが、とにかく副作用には往生します。朝から倦怠感があったり、食欲不振が続いたり、急に38℃を越す発熱があったり、下肢に力が入らなくなったり、・・・

そんな時のためにと内服薬を調整してもらっていますが、これの用い方がまた難しい。過度に摂取すると手足にむくみが出たり、全身に発疹が出たりして・・・

現在、地元の自治会の方では老人会の書記の役割を、ワイズの方はブリテン編集を担当させていただいている。いずれもパソコン主体の仕事であり、体力を要する役割は無理である。小学生の登下校時の子供見守り隊の役割も10年以上続けていたが、万が一でも注意が散漫になり、事故につながるようなことがあってはならないとの思いで、断腸の思いで休止させてもらっている。

ブリテン編集も老人会の書記の役割も、副作用を克服し、気力を振り絞らないと務まらない。それでも周りの方々の温かい励ましにより不十分ながらなんとか努めている。



担当主事 青木 英幸

横浜ワイズメンズクラブ並びに厚木ワイズメンズクラブに共催をいただき、9月2日(金)10:00~12:00に横浜中央

YMCAチャペルで「第9回横浜YMCA専門学校日本語スピーチコンテスト」を開催いたします。なお、スピーチの様子はオンライン(Zoomのウェビナー機能)にて同時配信され、視聴することが可能です。

参加は横浜YMCAカレッジグループの横浜YMCA学院専門学校(横浜中央YMCA)から4名、YMCA健康福祉専門学校(厚木YMCA)から1名、YMCA国際ビジネス専門学校(川崎YMCA)から3名、関東地区のYMCA日本語学校からYMCA東京日本語学校(在日本韓国YMCA)から1名、全体で9名を予定しています。皆様方のご支援により、日本語スピーチコンテストを開催出来ることに心から感謝申し上げます。

9月23日(金・祝)9:30~12:00に、「横浜YMCAの今を知って、仲間を見つけ、つながり、よくなっていく」をテーマに、維持会員の方々が充足感をもって、より主体的にYMCAに関わっていただくことと、維持会員同士の交流の場として、そして会員の満足度を上げることにより、維持会員増強につなげることを目的として、「横浜YMCAフェスタ〜私たち海員の集い〜」が湘南とつかYMCAを会場に対面参加とZoom参加のハイブリッド形式で開催されます。是非、ご参加くださいますようお願いいたします。

### 9月例会プログラム

日時: 9月 8日(木) 18:30~20:30

場所: 中央YMCA

司会: 古田ワイズ

1. 開会挨拶・・・古賀会長
2. お祈りと食前感謝・・・古賀会長
3. ゲスト・ビジターの紹介・・・古賀会長
4. 卓話

「横浜YMCAとともに歩んでいただくために」  
佐竹総主事

5. ビジネス・・・古賀会長
6. Happy Birthday 該当者なし

例会報告: 古田ワイズ

### 10月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
13	木	18:30	横浜クラブ第一例会	Zoom
15	土		第25回チャリティーラン	臨港パーク
22	土	15:00	湘南・沖縄部部大会	とつかY
27	木	17:00	横浜クラブ第二例会	Zoom
30	日		次期部長・主任等研修会	

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA 青木英幸にご連絡下さい。

メール [aoki\\_hideyuki@yokohamaymca.org](mailto:aoki_hideyuki@yokohamaymca.org)

電話 045-661-0080